

.....

館園名 : なかとみ現代工芸美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1998年05月29日

所在地

- ・ 〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345

公式サイト

- ・ [http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/washi/genbi/\(index.htm\)](http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/washi/genbi/(index.htm))

設立主体

- ・ 身延町（旧中富町・現身延町）

運営主体

- ・ 身延町

設立目的

- ・ 旧中富町は「幸福人口」を増やすことを町づくりの目標にしていた。
- ・ ここで生きることの豊かさを求めている1人ひとりに応えるため、設置。

展示概要

- ・ 同時代に生きる作家による作品展を開催。（陶磁、金属、染織、漆などの多岐にわたる現代工芸美術や書、絵画の企画展を年間数本）。
- ・ 常設展示はなく、企画展のみで運営。

活動概要

- ・ 企画展、準企画展を年間5～7本開催。（現代工芸、書を中心としたもの）
- ・ 展覧会の内容に即した美術講演会、美術講座などを実施。
- ・ 実技講座、美術館鑑賞ツアー、オペラコンチェルト等も実施。

延床面積

- ・ 1,200㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 2名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 41,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約40点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 合併に際しての事業の見直しが行われている。

2. ボランティア活動 名称：身延町なかとみ現代工芸美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 開館にあたり、美術館を身近に感じてもらうとともに、生涯学習活動を活発にすることを目的として設置。会場の監視を主な仕事としている。その他のこともやりたいが、忙しく手が回らない状況。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 47名（2004年12月現在）
- ・ 男性：14名、女性：33名
- ・ 平均年齢 56.5歳：男性 54歳、女性 59歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：学芸員兼任
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示室の監視、解説。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 他館の鑑賞ツアーを行う。（年1回）

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①展示の監視、解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998年

◇活動人数

- ・ 47名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 展示室の監視、お客様への解説を行う。
- ・ 町内の芸術祭の時には、展示作業もお手伝いいただく。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動（休館日は除く）。1つの展覧会につき、1人1回程度。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア保険費として年間約10万円計上している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1日2交代制。（1人ずつ）1つの展覧会につき、1人1回程度。
- ・ 美術館で都合のよい曜日を把握し、シフトを作成し、連絡する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 常時募集している。
- ・ 条件は特になく、興味のある方ならどなたでも。
- ・ 任期等も特になし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）
- ・ 毎回招待券を2枚差し上げている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 最近は監視をお願いするだけになっているので、他に活動できるものを探したい。また研修なども積極的に開催したい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 山梨県立科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1998年07月21日

所在地

- ・ 〒400-0023 山梨県甲府市愛宕町358-1

公式サイト

- ・ <http://www.kagakukan.pref.yamanashi.jp/>

設立主体

- ・ 山梨県

運営主体

- ・ 財団法人山梨県青少年協会

設立目的

- ・ 青少年をはじめ多くの人々に対して、科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育むことにより、教育および文化の発展に寄与するための拠点として設置。

展示概要

- ・ サイエンスプレイ・自然・生命・科学技術・地球・宇宙の6部門に分かれ、展示装置・映像・コンピューターにより、科学を身近なものとして楽しむことができる。

活動概要

- ・ 特別企画展、各種作品展、天体観測入門講座、金曜夜の天体観測室公開、星と音楽と語りの夕べ、星を観る会、おどろき実験、わくわく工作、スペシャルサイエンスショー、こども劇場などを実施。

延床面積

- ・ 約6,500㎡

全職員数

- ・ 27名

年間運営費

・

総資料点数

・

その他

- ・ 実験工作室では、身近な材料を利用して実験や工作を行うことができる。

2. ボランティア活動 名称：サイエンスクルー

活動目的・経緯

- ・ 1999年7月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年） ※現在不明
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：事業課 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①天文、②実験・工作。

活動その他

- ・ 不定期に、HP上と口コミで募集。
- ・ 任期制あり。
- ・ 保険には加入していない。
- ・ 食費を支給。
- ・ 入館料を免除。
- ・ かつてマルチメディアボランティアというのがあったが、現在は活動していない。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①天文

◇活動開始年

- ・ 1999年

◇活動人数

名（ 年）※現在不明

・

◇活動内容

- ・ 天文事業の補助（星を見る会、金曜夜の天体観測室公開、十六夜観望会）

◇活動日

- ・ 毎月2回開催の事業補助、および指導。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 機材を使用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 職員と打合せの上、運営。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ HP上と口コミで募集。
- ・ 任期制あり。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 職員が、天文講座を開催。
- ・ 職員が、天体望遠鏡の扱い方について研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険には加入していない。
- ・ 食費を支給。
- ・ 入館料を免除。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 小中高校生のボランティア受け入れに関する規定を作成中。

◇その他

・

活動個別シート ②実験・工作

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 名 (年)

◇活動内容

- ・ 月 1 回開催の「土曜科学クラブ」の指導。
- ・ 年 1 回開催の祭典への協力。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ HP 上と口コミで募集。
- ・ 任期制あり。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険には加入していない。
- ・ 食費を支給。
- ・ 入館料を免除。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 日常業務に追われ、ボランティアに対応する余裕がない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 山梨県立考古博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1982年11月3日

所在地

- ・ 〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根 923

公式サイト

- ・ <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak>

設立主体

- ・ 山梨県

運営主体

- ・ 山梨県

設立目的

- ・ 県内各地から発掘調査による考古資料を保存・公開・普及することにより、考古学や歴史に関する知識・関心をたかめ、ひろく県民文化の発展に寄与することを目的とする。

展示概要

- ・ 山梨の歴史・文化について考古資料により各時代ごとにわかりやすく展示。旧石器時代から近代までの資料を常時約1000点を展示。殿林遺跡・一の沢遺跡の縄文土器（重要文化財）をはじめとする縄文時代の展示資料が豊富。

活動概要

- ・ 国内外の考古資料を紹介する特別展を年に一回開催するほか、テーマ・時代に応じて県内資料を紹介する企画展を数回開催。普及事業として収蔵品をモデルとした縄文土器づくり教室や小中学生を対象とした勾玉作り編布あみなどの体験学習会を開催。館周辺は「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」として整備されており、公園内の遺跡めぐりも開催している。

延床面積

- ・ 2,611.25 m²

全職員数

- ・ 19名（平成17年度）

年間運営費

- ・ 104062 千円

総資料点数

- ・ 約10万点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1982年11月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 97名（1999年）
- ・ 男性：51名、女性：46名（1999年）
- ・ 平均年齢55歳：男性59歳、女性50歳（1999年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤 0名・その他（ ） 名
総務課4名、学芸課7名が事務局員として兼務。

活動の種類

- ・ ①ミュージアムショップ、②案内・誘導整理、③普及活動の補助。

活動その他

- ・ 館、ボランティア、両者の共同組織により運営。
- ・ 年度当初に、事務局で当番表を作成。
- ・ 「協力会だより」、年1回発行。
- ・ 特別展・企画展の勉強会を実施。
- ・ 2年に1回、一般公募。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期2年。
- ・ 館、およびボランティア相互で研修を実施。
- ・ 保険には加入していない。
- ・ 個々人の能力の差異、出勤者の固定化、無断欠勤、発足当初からの会員と新規会員との意識のギャップが問題。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①ミュージアムショップ

◇活動開始年

- ・ 1982年

◇活動人数

- ・ 47名(平成17年)

◇活動内容

- ・ ミュージアムショップでの販売、在庫のチェック。

◇活動日

- ・ 年度当初に作成した当番表による。ただし、特別展開催時は毎日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・ 応募時に記載してもらった活動可能曜日に基づいて、各協力員に協力できる日を当番表に記入してもらったのち、事務局にて調整。毎日協力員がショップに入るわけではないが、一日につき1～2名。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 年2回、協力員相互の親睦を兼ねて県内外の博物館等を見学する研修旅行を開催。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 改編にあたる年の1月からだいたい2月末日まで、主に県の広報を通じて新聞・ラジオなどで募集を行う。資格は、県内在住の20歳以上の方で考古学に興味と関心がある方。選考に関わる面接等はないが、委嘱前に活動内容についての説明会を開催。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 企画展、特別展の展示解説を兼ねた勉強会をそれぞれ会期中に開催。講師は学芸課職員。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 常設展、特別展については観覧料が無料となる。オリジナルミュージアムグッズの割引、その年に開催する特別展展示図録の無料配布。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 協力してくれる方の固定化。

◇その他

- ・

活動個別シート ②案内・誘導整理

◇活動開始年

- ・ 1982年

◇活動人数

- ・ 47名（平成17年）

◇活動内容

- ・ 受付、案内、誘導、監視。

◇活動日

- ・ 主に特別展開催期間。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 応募時に記載してもらった活動可能曜日に基づいて、各協力員に協力できる日を当番表に記入してもらったのち、事務局にて調整。一日につき4～5名。月に3回程度。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年2回、協力員相互の親睦を兼ねて県内外の博物館等を見学する研修旅行を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 改編にあたる年の1月からだいたい2月末日まで、主に県の広報を通じて新聞・ラジオなどで募集を行う。資格は、県内在住の20歳以上の方で考古学に興味と関心がある方。選考に関わる面接等はないが、委嘱前に活動内容についての説明会を開催。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 企画展、特別展の展示解説を兼ねた勉強会をそれぞれ会期中に開催。講師は学芸課職員。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 常設展、特別展については観覧料が無料となる。オリジナルミュージアムグッズの割引、その年に開催する特別展展示図録の無料配布。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 協力してくれる方の固定化。

◇その他

- ・

活動個別シート ③普及活動の補助

◇活動開始年

- ・ 1982年

◇活動人数

- ・ 47名（平成17年）

◇活動内容

- ・ 講座、講演会等の補助。

◇活動日

- ・ 主に日曜日（講座・講演会等の開催日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 応募時に記載してもらった活動可能曜日に基づいて、各協力員に協力できる日を当番表に記入してもらったのち、事務局にて調整。一回につき1～2名。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年2回、協力員相互の親睦を兼ねて県内外の博物館等を見学する研修旅行を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 改編にあたる年の1月からだいたい2月末日まで、主に県の広報を通じて新聞・ラジオなどで募集を行う。資格は、県内在住の20歳以上の方で考古学に興味と関心がある方。選考に関わる面接等はないが、委嘱前に活動内容についての説明会を開催。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 企画展、特別展の展示解説を兼ねた勉強会をそれぞれ会期中に開催。講師は学芸課職員。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 常設展、特別展については観覧料が無料となる。オリジナルミュージアムグッズの割引、その年に開催する特別展展示図録の無料配布。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 協力してくれる方の固定化。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 山梨県立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1978年11月03日

所在地

- ・ 〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27

公式サイト

- ・ <http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

設立主体

- ・ 山梨県

運営主体

- ・ 山梨県

設立目的

- ・ 置県100年記念事業の一環として、県民の芸術文化の向上に資することを目的に設立。

展示概要

- ・ ミレーの画業を、初期の作品、出世作、晩年の風景画、デッサン、版画計70点によって、概観できる。
- ・ コロー、クールベ等同時代の作品も収蔵。
- ・ 山梨にちなんだ作家、山梨の美術史を飾る人々、国内外の著名美術家の作品約8,000点を収蔵。

活動概要

- ・ 企画展示（年7回）、施設貸し出し、実技講座・ワークショップ・講演会・コンサート・映画会を開催。
- ・ オリジナルハイビジョン番組を上映。
- ・ ギャラリーで県内若手・中堅作家を紹介。

延床面積

- ・ 12,018.82㎡

全職員数

- ・ 35名

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 約8,000点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：美術館協力員

活動目的・経緯

- ・ 1978年10月20日、美術館協力員制度の会則施行。
- ・ 1978年11月、開館と同時に活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 136名（2004年）
- ・ 男性：8名、女性：128名（2004年）
- ・ 平均年齢56歳：男性54歳、女性56歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務課 担当人数：常勤 名・その他（非常勤）1名
：協力会 担当人数：常勤1名・その他（非常勤） 名

活動の種類

- ・ ①案内、②展示解説、③図書等資料の整理、④映画会の開催・情報提供、⑤実技講座の補助、⑥ワークショップの補助。

活動その他

- ・ 館と協力会により運営。館からの方針・情報をもとに、協力会を指導する専任の非常勤、協力会役職員が協力して全体を取りまとめている。
- ・ 年に1度、役員会、および総会を行う。
- ・ 共用のボランティア室があり、企画展の図録を保存・閲覧できるようになっている。
- ・ 定期的でなく、必要に応じて美術館訪問、懇親会を実施。
- ・ 2年ごとに公募。1月頃、県広報誌や新聞等に募集要項を掲載（全体で約120名）。翌年3月に委嘱。
- ・ 資格：月1～2回以上活動可能な方。18歳から65歳までの方。面接にて選考。
- ・ 定年制あり（概ね70歳）。任期2年（更新あり）。
- ・ 事前研修（職員による専門担当研修）1回。企画展ごとの外部講師による講演も、研修の一環と位置づけている。
- ・ ボランティア保険に加入（保険料は、協力会会計から支出）。
- ・ 常設展・特別展招待券、特別展の図録を配布。
- ・ 10年以上活動して、協力員を辞めたときに、総会の席で記念品と感謝状を贈呈。
- ・ 他のボランティア活動や生涯学習への積極的な参加により、会議等の調整が難しい。

関連する出版物

- ・ 会報「県美協力会々報」（年1回）。
- ・ 協力員だより「いいじゃんけの庭」（年1回）。

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①案内

◇活動開始年

- ・ 1978 年

◇活動人数

- ・ 102 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 入館者の総合案内、誘導、観光などの情報提供
- ・ ロッカーに入らない荷物の預かり、車椅子の貸し出し。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 共用のボランティア室があり、企画展の図録を保存・閲覧できるようになっている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 希望する曜日に分かれて、1 日 3 名 (観光シーズンの土曜日は 4 名) が担当。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定期的でなく、必要に応じて美術館訪問、懇親会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 年ごとに公募。1 月頃、県広報誌や新聞等に募集要項を掲載 (全体で約 120 名)。翌年 3 月に委嘱。
- ・ 資格：月 1~2 回以上活動可能な方。18 歳から 65 歳までの方。面接にて選考。
- ・ 定年制あり (概ね 70 歳)。任期 2 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (職員による専門担当研修) 1 回。企画展ごとの外部講師による講演も、研修の一環と位置づけている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (保険料は、協力会会計から支出)。
- ・ 交通費、食費の支給もなく無報酬。
- ・ 常設展・特別展招待券、特別展の図録を配布。

◇評価

- ・ 10 年以上活動して、協力員を辞めたときに、総会の席で記念品と感謝状を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 他のボランティア活動や生涯学習への積極的な参加により、会議等の調整が難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②展示解説

◇活動開始年

- ・ 1991 年

◇活動人数

- ・ 28 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 常設展の解説。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 共用のボランティア室があり、企画展の図録を保存・閲覧できるようになっている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事前予約団体・個人、および当日の希望者を対象に、1 名が担当。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定期的でなく、必要に応じて美術館訪問、懇親会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 年ごとに公募。1 月頃、県広報誌や新聞等に募集要項を掲載 (全体で約 120 名)。翌年 3 月に委嘱。
- ・ 資格：月 1~2 回以上活動可能な方。18 歳から 65 歳までの方。面接にて選考。
- ・ 定年制あり (概ね 70 歳)。任期 2 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (職員による専門担当研修) 1 回。企画展ごとの外部講師による講演も、研修の一環と位置づけている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (保険料は、協力会会計から支出)。
- ・ 交通費、食費の支給もなく無報酬。
- ・ 常設展・特別展招待券、特別展の図録を配布。

◇評価

- ・ 10 年以上活動して、協力員を辞めたときに、総会の席で記念品と感謝状を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 他のボランティア活動や生涯学習への積極的な参加により、会議等の調整が難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ③図書等資料の整理

◇活動開始年

- ・ 1991 年

◇活動人数

- ・ 9 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 美術図書室の図書、展覧会図録、資料の整理。

◇活動日

- ・ 月 3~4 回、金曜日に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 共用のボランティア室があり、企画展の図録を保存・閲覧できるようになっている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 第 3 金曜日に、なるべく全員が揃って活動できるようにしている。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定期的でなく、必要に応じて美術館訪問、懇親会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 年ごとに公募。1 月頃、県広報誌や新聞等に募集要項を掲載 (全体で約 120 名)。翌年 3 月に委嘱。
- ・ 資格：月 1~2 回以上活動可能な方。18 歳から 65 歳までの方。面接にて選考。
- ・ 定年制あり (概ね 70 歳)。任期 2 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (職員による専門担当研修) 1 回。企画展ごとの外部講師による講演も、研修の一環と位置づけている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (保険料は、協力会会計から支出)。
- ・ 交通費、食費の支給もなく無報酬。
- ・ 常設展・特別展招待券、特別展の図録を配布。

◇評価

- ・ 10 年以上活動して、協力員を辞めたときに、総会の席で記念品と感謝状を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 他のボランティア活動や生涯学習への積極的な参加により、会議等の調整が難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ④映画会の開催・他館の情報提供

◇活動開始年

- ・ 1991 年

◇活動人数

- ・ 6 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 月 1 回、映画会を開催。他館のポスターを貼付する。

◇活動日

- ・ 月 2 回程度。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 共用のボランティア室があり、企画展の図録を保存・閲覧できるようになっている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 第 4 土曜日の午後に映画会を開催。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定期的でなく、必要に応じて美術館訪問、懇親会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 年ごとに公募。1 月頃、県広報誌や新聞等に募集要項を掲載 (全体で約 120 名)。翌年 3 月に委嘱。
- ・ 資格：月 1～2 回以上活動可能な方。18 歳から 65 歳までの方。面接にて選考。
- ・ 定年制あり (概ね 70 歳)。任期 2 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (職員による専門担当研修) 1 回。企画展ごとの外部講師による講演も、研修の一環と位置づけている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (保険料は、協力会会計から支出)。
- ・ 交通費、食費の支給もなく無報酬。
- ・ 常設展・特別展招待券、特別展の図録を配布。

◇評価

- ・ 10 年以上活動して、協力員を辞めたときに、総会の席で記念品と感謝状を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 他のボランティア活動や生涯学習への積極的な参加により、会議等の調整が難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤実技講座の補助

◇活動開始年

- ・ 1991 年

◇活動人数

- ・ 12 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 年に 6 回程度開催している各種講座の講師の補助を行う。

◇活動日

- ・ 月 1～2 回程度。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 共用のボランティア室があり、企画展の図録を保存・閲覧できるようになっている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 主に作家の指導日を活動日として、担当を決めて活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定期的でなく、必要に応じて美術館訪問、懇親会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 年ごとに公募。1 月頃、県広報誌や新聞等に募集要項を掲載 (全体で約 120 名)。翌年 3 月に委嘱。
- ・ 資格：月 1～2 回以上活動可能な方。18 歳から 65 歳までの方。面接にて選考。
- ・ 定年制あり (概ね 70 歳)。任期 2 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (職員による専門担当研修) 1 回。企画展ごとの外部講師による講演も、研修の一環と位置づけている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (保険料は、協力会会計から支出)。
- ・ 交通費、食費の支給もなく無報酬。
- ・ 常設展・特別展招待券、特別展の図録を配布。

◇評価

- ・ 10 年以上活動して、協力員を辞めたときに、総会の席で記念品と感謝状を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 他のボランティア活動や生涯学習への積極的な参加により、会議等の調整が難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥ワークショップの補助

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 4 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 子どもを対象とした各種美術講座等で、講師の補助を行う。

◇活動日

- ・ 年に 12 回程度開催されるワークショップ(夏季以外は土曜日)に合わせて、月 1~2 回程度。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 協力員が少ない上、小学生が対象でもあるので、全員一緒に活動している。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定期的でなく、必要に応じて美術館訪問、懇親会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 年ごとに公募。1 月頃、県広報誌や新聞等に募集要項を掲載 (全体で約 120 名)。翌年 3 月に委嘱。
- ・ 資格：月 1~2 回以上活動可能な方。18 歳から 65 歳までの方。面接にて選考。
- ・ 定年制あり (概ね 70 歳)。任期 2 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (職員による専門担当研修) 1 回。企画展ごとの外部講師による講演も、研修の一環と位置づけている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (保険料は、協力会会計から支出)。
- ・ 交通費、食費の支給もなく無報酬。
- ・ 常設展・特別展招待券、特別展の図録を配布。

◇評価

- ・ 10 年以上活動して、協力員を辞めたときに、総会の席で記念品と感謝状を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 他のボランティア活動や生涯学習への積極的な参加により、会議等の調整が難しい。

◇その他

- ・